営農技術情報

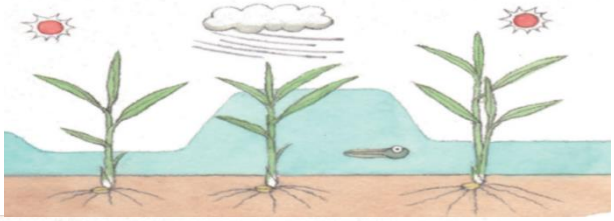
発行　令和５年６月16日
第７号
たいせつ農業協同組合
営農部　農産販売課
本所　営農センター　57-2357
支所　営農センター　87-4111

◆水田雑草の管理について

初中期一発剤で処理しきれず雑草が残ってしまったほ場は、中後期除草剤を取り入れた体系防除への切り替えも検討しましょう。

薬剤名	使用時期	散布適期	成分数	使用量（10ａ）	使用回数	主な適用雑草
クリンチャーEW	移植後25日～収穫30日前まで	ノビエ６葉期まで	1	100ml	2	ノビエ
クリンチャーバスME液剤	移植後25日～収穫50日前まで	ノビエ５葉期まで ホタルイ発生盛期～増殖中期まで	2	1,000ml	2	ノビエ ホタルイ
バサグラン粒剤	移植後20日～45日 収穫60日前まで	ホタルイ発生盛期～増殖中期まで オモダカ発生盛期～発生揃期まで	1	3～4㎏	1	ホタルイ オモダカ
アトトリ豆つぶ250	移植後20日～ 収穫45日前まで	シズイ草丈30㎝以下 オモダカ発生盛期～矢尻葉３葉期まで	1	250ｇ	1	シズイ オモダカ

◆分げつから幼穂形成期までの水管理



好天の日は浅水（2～3cm）、低温・荒天時は深水（苗の葉先が出る程度）とする

低温や荒天時には深水（7～10cm）で管理する

好天時は浅水（3～4cm）とし、分げつ発生を促進する

分げつは日較差（一日のうちの最高気温と最低気温の差）が大きければ大きいほど発生します。日中は浅水管理を実施し水温の確保に努め、分げつを促進しましょう。**「早朝かん水・日中止水」**を基本とし、風の強い日や低温時には深水管理をしましょう。

◆土壌還元（ワキ）への対策

ワキの激しい水田では晴天日を選んで中干しと併せて溝きりを行いましょう。また、ワキ対策で中干しを行う場合はほ場に亀裂を生じさせないように注意し、幼穂形成期までに終わらせましょう。

ワキの程度	症　状	生育への影響	対　策
中	水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水の入れ換え 暗きょ水こうの開放
多	水田に足を踏み込むと盛んに気泡が発生する	根張り不良	一時落水 暗きょ水こうの開放
甚	晴天時、自然に気泡を発生し音が聞こえる	根の伸長阻害 地上部の黄化	3～5日軽い亀裂が入る中干し

◆畦畔・敷地への除草剤散布について

畦畔や敷地内への除草剤散布は付近の作物への、農薬ドリフトのリスクを高めます。作物への生育被害や残留農薬の検出があった場合、残留農薬の調査料や生育被害に応じた補償が発生する場合があります。もし散布を行わなければならない場合は飛散防止のカバー等を装着し風の弱い日に散布を行うなど、農薬ドリフトに対し**細心の注意を払いましょう。**